

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

宮原小	学校	児童数	110
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.61	18.80	33.01	30.00	42.55	9.64	129.60	21.43	46.55
大阪市	15.70	19.17	30.39	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.38	18.77	33.65	28.70	27.43	9.85	125.57	12.75	48.00
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

- ・学校の課題
男子は「長座体前屈・ソフトボール投げ」以外、女子は「上体起こし・ソフトボール投げ」以外は大阪市平均を下回っていることがわかった。当該学年に関わらず、本校の体力、運動能力の傾向を把握し、平均値を下回る項目について数値を向上させる取り組みが必要である。
- ・令和7年度の体力合計点について
男子が大阪市平均を4.99ポイント下回っている。女子は大阪市平均を4.58ポイント下回っている。昨年度より男子・女子ともに低いポイントとなっている。
- ・質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況について
男女とも「好き」「やや好き」の合計は大阪市平均を男子では0.5ポイント、女子では1.7ポイント下回っている。男女ともに、運動に対する意識が低いため、意欲を高める取り組みが必要である。
- ・1週間の総運動時間が60分未満の児童について
男子が大阪市の平均よりも2.9ポイント多く、女子が3ポイント多い。男子・女子ともに運動不足の児童が多くみられると言える。さらに運動やスポーツに親しむ意識を高める取り組みを図っていく。

tyouz

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

校内では体力アップの取り組みとして、毎年「かけあし週間」や「なわとび週間」を設け、児童が運動に親しむ取り組みを進めている。また、体育科の授業や休み時間の子どもの姿からは楽しく意欲的に運動に取り組む姿が見られている。

しかし、上記のデータから体力や運動能力については課題が残る。本校は運動場も狭く、休み時間に全校児童が走り回ったり、体育科の学習で広い範囲を使用したりすることができない。今後も体育科学習や体育的行事の継続や改善に努めるが、児童の運動時間確保や意識改革のためには、学校内の取り組みだけでは難しい部分がある。そこで、地域や家庭との連携を図り、児童が運動やスポーツを好きになるような働きかけを行っていく。

